

県内国体主会場候補施設の現況

施設名	所在地	施設の現況	場内施設	アクセス
彦根総合運動場 陸上競技場	彦根市	第2種公認の陸上競技場 (走路:全天候8レーン、フィールド:天然芝) 照明:なし 電光掲示板:なし 固定席:1,100席(芝生席4,900人収容)  【場内総面積】約14ha 【場内駐車場】680台	プール(公認50m) テニスコート(12面) 多目的広場(14,000㎡) 野球場	JR彦根駅 (徒歩約20分) 彦根IC (車約10分)
希望が丘文化公園 陸上競技場	野洲市 湖南市 竜王町	第4種公認の陸上競技場 (走路:全天候8レーン、フィールド:天然芝) 照明:なし 電光掲示板:なし 固定席:なし(芝生:約4,000人収容)  【公園総面積】約416ha (うちスポーツゾーン面積 約54ha) 【公園内駐車場】1,750台	芝生ランド(67,000㎡) 球技場(13,000㎡) 野球場、ソフトボール場 テニスコート(17面) 多目的グラウンド(15,000㎡) 子ども広場(86,000㎡) グラウンドゴルフ場(14,000㎡) キャンプ場	JR野洲駅 (バス約10分) 竜王IC (車約25分)
びわこ文化公園都市	大津市	【滋賀医大南東の県土地開発公社保有地】約30~40ha  【びわこ文化公園内駐車場】340台	/	JR瀬田 (バス約10分) 草津田上IC (車約10分) 瀬田東IC (車約10分)

国体先催県の開・閉会式会場整備状況

開催年	開催地	改修内容	整備費用(概算)	場内施設	アクセス
平成 26年	長崎県	改築	県：長崎県立総合運動公園陸上競技場		JR諫早駅 (バス約10分) 諫早IC (車約10分)
			8レーンを9レーンに拡張。走路舗装。 メインスタンドの屋根を全面に拡張。照明は屋根に設置。 1万5千人収容(芝生席含む)を2万人の椅子席に改修。 300mの陸上競技場を第3種の陸上競技場(補助競技場)に改修。 投てき練習場は公園内のサッカー場、ソフトボール場に仮設。 【新規設備】・大型映像装置 ・記録測定装置 ・雨水再利用設備 ・太陽光発電装置 【公園総面積】約32ha 【公園内駐車場】約1,100台	陸上競技場 80億円 補助競技場 7億円 周辺整備 13億円	
平成 27年	和歌山県	改修	県：紀三井寺運動公園陸上競技場		JR紀三井寺駅 (徒歩約30分) 海南IC (車約15分)
			スタンド屋根の面積を約4倍に拡張。 走路ウレタン舗装。競技場レイアウト変更。 球技場を第3種の陸上競技場(補助競技場)に改修。 約1万9千人収容。 投てき練習場は公園内の野球場および公園外のスポーツ広場の利用を検討中。 【新規設備】・夜間照明設備 ・太陽光発電装置 ・音響システム ・記録測定装置 ・大型映像装置 【公園総面積】約14ha 【公園内駐車場】約500台	陸上競技場 (周辺整備含む) 45億円 補助競技場 5億円	
平成 28年	岩手県	改修	市：北上総合運動公園陸上競技場		JR北上駅 (バス約20分) 北上金ヶ崎IC (車約5分)
			走路舗装。競技場レイアウト変更。 補助競技場改修(走路舗装)。投てき練習場整備。 2万2千人収容(芝生席約1万5千人分を含む)。 照明設備は仮設で対応。 【新規設備】・記録測定装置 ・大型映像装置 【公園総面積】約49ha 【公園内駐車場】1,335台	陸上競技場 8.9億円 補助競技場 0.9億円 その他 (投てき練習場、 音響設備など) 0.4億円	
平成 29年	愛媛県	改修	県：愛媛県総合運動公園ニンジニアスタジアム		JR松山駅 (バス約30分) 松山IC (車約10分)
			体育館、テニスコート、広場など運動公園一帯を改修。 芝生席(1万人分)を椅子席に改修し、椅子席で2万1千人収容可。 投てき練習場は公園内の球技場、多目的広場、自由広場に仮設。 【新規設備】・大型映像装置(4億円) 【公園総面積】約69ha 【公園内駐車場】約2,200台  【競技会場となる公園内の施設】←整備対象 体育館(体操競技・新体操)、テニスコート、弓道場	運動公園一帯 100億円	

《参考資料》

開催年	開催地	改修内容	整備費用(概算)	場内施設	アクセス
平成 24年	岐阜県	改修	県：岐阜メモリアルセンター長良川競技場		
			<p>8レーンを9レーンに拡張。走路舗装。照明設備改修。座席の固席化。 2万9千人収容（芝生席約1万5千人分を含む）。 300mを400mの陸上競技場（補助競技場）に改修。</p> <p>【新規設備】・大型映像装置（2.7億円） 【公園総面積】約23ha 【公園内駐車場】570台</p>	<p>陸上競技場 13.3億円 補助競技場 5.5億円</p>	<p>補助競技場（第3種公認） 野球場 テニスコート（16面） 武道館、相撲場、弓道場 芝生広場（11,394㎡） プール（公認50m） 第1体育館（2,200㎡） 第2体育館（1,687㎡）</p>

岐阜メモリアルセンターでの実施競技の来場者

開会式	9/29	約31,000人	<p>隣接施設駐車場 約1,000台（うち関係者用500台） 臨時駐車場 約1,700台（一般来場者用）</p>
陸上競技	10/5~9	約29,000人	
体操	9/30~10/8	約13,000人	
水泳	9/15~17	約11,000人	
テニス	9/30~10/3	約3,200人	
高校野球	9/30~10/3	約16,000人	

公認陸上競技場規程 抜粋（日本陸上競技連盟による）

	第1種	第2種	第3種	第4種
走路	8または9レーン	8または9レーン	8レーン	6レーン以上
曲走路	8または9レーン	8または9レーン	6レーン以上	4レーン以上
補助競技場	全天候舗装400m第3種公認陸上競技場	全天候舗装の競技場があることが望ましい	無くても可	無くても可
収容人数	15,000人以上 (芝生席含む・メインスタンドは7,000人程度で屋根付きとする。)	5,000人以上 (芝生席含む・メインスタンドは1,000人程度で屋根付きを希望する。)	相当数	相当数
更衣室	300人以上収容	100人以上収容	利用できる施設があることが望ましい	無くても可
雨天走路	メインかバックスタンド側にあることが必要。舗装材は競技場と同一にする。	設置することが望ましい	無くても可	無くても可
照明設備	平均照度1000Lx フィニッシュラインでは1500Lx以上	あることが望ましい	無くても可	無くても可
電光掲示板	設置することが望ましい。 (大規模大会の会場では仮設でもよい。)	あることが望ましい	無くても可	無くても可
開催可能な競技会種別	日本陸連主催の全国大会 (国民体育大会含む)および国際的な大会	加盟団体陸上競技選手権大会および地方における主な大会	加盟団体陸上競技選手権大会等	加盟団体の大会・記録会
県内該当施設 (H25.4月末現在)	大津市皇子山陸上競技場 (1種B) (上記基準を満たしていないが、既設につき更新は認められている。)	県立彦根総合運動場	甲賀市水口スポーツの森 東近江市布引運動公園 びわこ成蹊スポーツ大学 びわこフィールド	県立希望が丘文化公園スポーツゾーン(更新保留の見込み) 栗東市野洲川運動公園 立命館大学BKCクインスタジアム(整備済:公認取得予定)

## 国民体育大会施設基準

競技等	基準	摘要
総合開・閉会式	式典会場は、観覧席が仮設スタンドを含み、約3万人を収容できる施設 屋外の式典会場の場合は、雨天対策用として体育館1	
陸上競技	日本陸上競技連盟公認の第1種競技場1	1周400mのサブトラック1、 投てき練習場1
	(財)日本陸上競技連盟「第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様(抜粋)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助競技場 → 第3種公認陸上競技場とする</li> <li>・投てき練習場 → 大規模競技会では主競技場の至近に設置する</li> </ul>	

(公財)日本体育協会「国民体育大会開催基準要項・開催基準要項細則」(第70回大会以降用)より抜粋

## 滋賀県内の既存陸上競技場

施設名	設置主体	摘要	
皇子山総合運動公園	大津市	第1種B	約15ha 3種併設なし
滋賀県立彦根総合運動場	滋賀県	第2種	約14ha
水口スポーツの森	甲賀市	第3種	約24ha
東近江布引運動公園	東近江市	第3種	約20ha
びわこフィールド	民間(びわこ成蹊スポーツ大学)	第3種	-
滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン	滋賀県	第4種	約54ha(スポーツゾーン)
野洲川運動公園	栗東市	第4種	約10ha
BKCクインスタジアム	民間(立命館大学)	-	(整備済:第4種公認取得予定)